第3回開催概要

開催日:令和6年(2024年)1月13日(土)

場所:小田原市役所7階大会議室

参加者:計17名 4班(各班4~5名程度)

テーマ:活用理念とオープントライアルでの効果検証を考える!

<検討内容>

テーマに沿って、市民会館跡地等の対象地をオープントライアルで「検証できる/してほしい」ことを考える個人ワークを実施した後、「理想的な活用に向けた視点」、「オープントライアルに向けた"関わりしろ"」を考えるグループワークを行いました。

これまで全3回の議論を振り返り、最も大事にしたい要素・価値観等を3つに絞りながら、 オープントライアルにおいて、どのような人を巻き込めばより良い場所になるか、また、ど のような巻き込み方をすれば取組に関わってもらえるのかについて話し合いました。

く検討結果>

対象地でのペルソナや空間イメージ等の具体的な議論を振り返り、対象地の理想的な活用 に向けて大切にしたい価値観や視点から、オープントライアルと本格整備後における活用理 念について話し合いました。

【持続可能性、多様性】

- SDG (持続可能性) をテーマに
- 多様性の出会う場所

【地元、地域活性化】

- 地域活性化に貢献できる
- 「地元」を大事に

【世界、観光】

- 小田原から世界へ
- 場所の概念 観光の起点

【小田原のシンボル】

- 小田原で一番素敵な場所
- 人の流動性が高い場所に、他のところにも行きたくなっちゃう!
- 城下町の雰囲気は守りつつ、活気ある場所に、未来につなげられるように
- 小田原に来る目的の一つに、シンボルの一つに

【チャレンジ、ワクワク】

- 新しい小田原!!ワクワクする、新しいワクワクを!
- 誰でもチャレンジできる場所

活用・体験

【知る】

できること

● 小田原らしい美味しい食べ物・飲み物を楽しく味わえる

- 小田原を知ってもらう、もっと知る
- 情報場所
- お祭りの山車の展示

【多様な活動】

- フリマ (フリーマーケット) をやったりする場所
- 多目的フリースペースがあり、出店やイベントを行うことができる
- 特定の人/団体ではなく色んな人が自由に何度も利用できる
- いろいろな文化の体験

【出会い・交流】

- 小田原の新しいこと/楽しいことにいつも出会える
- 人と出会えるスペース、イベント、出会いも生まれる場所
- コミュニケーションを図る
- 住民と観光客が交流できる場所

【防災】

● 一時避難場所として活用できるようにしてほしい

【利便性】

● きれいなトイレやごみ箱等があり、本エリア内で完結する

【周辺への配慮】

● 周辺への影響を配慮した活用

【子ども、子どもと大人】

- 子どもも一緒に楽しめる、笑顔になる
- 子どもが遊べる場所
- 大人も子供もわざわざそこまで行きたくなる場所、子どもも大人も HAPPY!、大人も子どもも裸足で歩ける場所
- パパ・ママがホッとできる場所

【若者】

- 若人が集まる"小田原の原宿"的な場所
- 次世代が活き活きできる場所

【多世代】

居場所

- 世代を超えて楽しめる
- 老人が3世代笑顔でいられる場所

【いつも楽しい、心地よい(安心できる)、落ち着く】

- いつ行っても楽しい、心地よい、楽しいことがある
- 心地よい、目を綴じれば四季を感じることができる
- 予定なく立ち寄ってもくつろげる場所、滞在できる場所、行くところがない、用事がなくても行ける場所
- いつも安心できる場所、息抜きといえばここを選ぶ場所、1人でもゆっく り落ち着ける場所
- 1人でも、来たことが無くても、入りづらい雰囲気なく、初めましてでも ワイワイできる場所

<ワークショップの様子>





